

あさくらっこおめでとう



あお
田中 蒼音ちゃん
令和6年3月30日生(杷木久喜宮)



さや
酒井 咲弥ちゃん
令和6年3月29日生(甘木)



にこな
松田 虹心菜ちゃん
令和6年3月20日生(柿原)



まりん
弓削 茉鈴ちゃん
令和5年3月17日生(甘木)



なお
手嶋 那鳳ちゃん
令和5年3月16日生(板屋)



りつと
小松 律仁ちゃん
令和5年3月24日生(菩提寺)



みつき
星野 美月ちゃん
令和5年3月1日生(馬田)



えま
田中 絵麻ちゃん
令和4年3月29日生(杷木久喜宮)



みさら
吉田 妃更ちゃん
令和4年3月25日生(杷木久喜宮)



きりの
飯田 葵里乃ちゃん
令和4年3月13日生(堤)



申込期間 4月生まれ(4月号)の申込は
3月7日(金)まで

申込条件 満1~3歳の子どもの対象。定員18人
(先着順)。申込多数の場合、満1歳の子
どもを優先して掲載します。

申込方法

①メール(jinji-kouhou@city.asakura.lg.jp)
写真データを添付し、子どもの氏名(ふりがな)・生年月日・住所・
連絡先(保護者氏名)を明記。送信後、市人事秘書課(☎22-1117
/平日8時30分~17時15分)へ電話してください。

②来庁
写真データを、市人事秘書課(本庁3階)または朝倉・杷木支所市
民窓口係(1階)へ(USBメモリ不可)。



子育て講座・
イベント情報

つどいのお茶会

朝倉市周辺の子育て情報をママたちと
シェアしませんか?
■日時…3月14日(金)10時30分~
11時30分
■託児…あり(1歳以上のみ10組。0歳
はママと一緒に参加)

【共通】■場所…つどいの広場 ④⑤ 子育てほっとサロン「つどいの広場」(☎080-6439-1851)

イヤイヤ期との上手な付き合い方

■日時…3月26日(水)10時30分~
11時30分
■講師…江上千代美さん(福岡県立大学
看護学部教授)
■託児…あり

つながる子育てアプリあさくらっこ
妊娠・出産、子育てまでサポート
アプリダウンロード▶▶▶



3月の催し

母子健康手帳交付

《市健康課》平日9時~16時 あさくらっこアプリで予約。
■持ってくるもの
妊娠届出書、マイナンバーと本人確認ができるものなど



◀「親子健康
カレンダー」
に年間予定
も掲載

子育て応援プログラム

※各教室とも、場所はピーポート甘木保健福祉センターです。
参加時には、母子健康手帳が必要です。あさくらっこアプリで
予約してください。

マタニティクラス(母親学級)

おいしいおっぱいのための食事について。調理実習あり。
■日時…11日(火)9時30分~12時※6日(木)までに要予約
■持ってくるもの…筆記具、エプロン

もぐもぐ教室

離乳食を始める生後4~6カ月の乳児と保護者の皆さんへ。
■日時…27日(木)10時~12時
※第2子以降の人は19日(水)までに要予約
■持ってくるもの…筆記具、エプロン

すくすく(育児)相談

子どもの成長、母乳、離乳食、遊び、歯みがき、トイレなど、気
軽にご相談ください。身長・体重の計測も行っています。
■日時…12日(水)10時~11時30分※4日(火)までに要予約
■持ってくるもの…バスタオル1枚
※母乳相談は別途フェイスタオル3枚持参。

ここにこども相談

ことばや行動、発達について、専門のスタッフが相談に応じます。
■期日…25日(火) ※要予約(時間は予約後に案内します)

乳幼児健診(対象者に個別で通知します)

【甘木・朝倉地域の人】

対象	日
4カ月児(令和6年10月生)	4日(火)
10カ月児(令和6年4月生)	5日(水)
1歳6カ月児(令和5年8月生)	6日(木)
3歳児(令和4年2月生)	7日(金)

■時間…12時45分~
■場所…ピーポート甘木 保健福祉センター
■持ってくるもの…母子健康手帳
■健診内容…身長体重測定、小児科医による診察、育児・栄養相談
《4カ月児》母乳相談 《4カ月児・1歳6カ月児》ブックスタート
《10カ月児・1歳6カ月児・3歳児》歯みがき相談
《3歳児》尿検査、視覚検査
④⑤ 市健康課(☎22-8571)

おはなし会

各図書館で、絵本の読み聞かせのほか、
わらべうたを一緒に歌ったり、みんなで手遊びをしたりします。



【中央図書館】

おはなし会(幼児~小学生向け)
■日時…毎週土・日曜日14時~
ぴよぴよおはなし会(0~2歳児向け)
■日時…12日・19日(水)11時30分~

【あさくら図書館】

あかちゃんおはなし会(0~1歳児向け)
■日時…1日(土)11時~
みんなのおはなし会(幼児~小学生向け)
■日時…8日・15日・22日・29日(土)11時~
おひさまおはなし会(幼児~小学生向け)
■日時…23日(日)11時~

【はき図書館】

わくわくおはなし会(乳幼児向け)
■日時…25日(火)11時~

つどい 子育て広場

親子が気軽に集い交流したり、育児相談を行ったりしていま
す。詳しい内容や行事などはそれぞれの広場まで。

- 子育てほっとサロン「つどいの広場」
(堤1413)(☎080-6439-1851)
- 生い立つ地域子育て支援センター
(菩提寺606-1)(☎24-5203)
- ひろにわ地域子育て支援センター
(入地2607-1)(☎080-8352-4178)



▲つどいの広場



▲ひろにわ

Pick Up

思い出のフォトカレンダーを作ろう

かわいい子どもさんの成長記録を1年間のカレンダーにし
ませんか。

見やすい場所に貼って、かわいい表
情の子どもを見ながら、たくさん活用
してください。

■日時…6日(木)10時~11時30分
■場所…生い立つ保育園 子育てルーム
■定員…10組(要予約)

※託児あり
④ 生い立つ地域子育て支援センター
(☎24-5203)



広報文芸

年間優秀作品を発表

令和6年4月号から令和7年2月号まで、毎月応募された作品の中から選ばれた令和6年度優秀作品を俳句・川柳それぞれ5点紹介します。

俳句 (矢野俊一選)

彼の地にも月は平和の光差し
牛鶴 長野 京子

【評】秋の月は特に美しく光をたためます。作者は平和の光を感じたのでしょうか。そして、今此処に在る平和と、「彼の地」を重ねました。被災地や戦地であるのかもしれない。月はどこにでも平等に光を与えます。平和な光であることを祈る気持ちが伝わります。



薫風や野良にいそしむ母の背
比良松 本園 康子

【評】おそらく高齢のお母さんが、毎日のように畑に出て、野菜や花を育てていらつしやる姿が目には浮かびます。「薫風」または「風薫る」は初夏の季語で、まさに青々とした風が吹くような爽やかさと元気が感じられ、背中を見守る作者の視点も清々しいです。

秋祭り泣く子にひるむ獅子の口
甘木 仲山 尚山

資料館植輪も欠伸小春かな
比良松 足立 修三

避難する淋しさ一人明易し
木久喜宮 田中 君子

川柳 (益永克之選)

温かい言葉は薬癒される
来春 伊藤 佳子

【評】失敗を重ねて意気消沈して、気分が落ち込む事があると思います。作者はその時に思い遣りのある「大丈夫」との言葉掛けに救われて立ち直ることが出来たのです。うれしいと感じた体験を川柳にリズムよく十七文字に詠み込んだ秀句です。

激動の昭和かえりみ平和請う
堤 篠原 明男

【評】令和7年は戦後から80年の「昭和」の時代です。前期戦争、後期を平和と相対化しているが、令和の今も世界では、ロシアの侵攻が続き、国内でも紛争の火種が起きています。作者は、激動の昭和を回顧して言外に、世界に平和を請い願っている秀句です。

若い頃と変わらぬ友の声便り
下刈 桑野 照子

葉ゆび指輪はないが半世紀
菩提寺 北原 妙子

声を大に言いたい事は物価高
一木 田中 妙子



シリーズ 人権 誰もが「健康で文化的な最低限度の生活」を送るために

表題の言葉は、日本国憲法第25条の一文であり、生活保護法はその理念である「生存権」を実現するために制定されたものです。

その生活保護法の規定に基づき策定された生活保護制度は、経済的に困窮している人に対し、その程度に応じて必要な支援を行い、最低限度の生活を保障するとともに、自立を助長するものとされています。また、「貧困は個人の責任や問題だけで起こるのではなく、社会環境の急激な変化でも起こりえるものある」として、法律の定める要件を満たす限り、すべての国民が利用できる制度です。

「社会環境の急激な変化」の事例としては、「バブル崩壊後の日本経済不況時や、リーマンショック（世界的な金融・経済危機）によって貧困に陥り、生活保護受給者が急増した」ことがあげられます。

生活保護費は、国の定めた基準に沿って、申請された世帯の人数や資産、収入や医療費などを調査した上で、最低限度の生活を送るために必要な費用（基準額）を試算し、収入や資産を差し引いた不足額が支給されます。最近では、新型コロナウイルス感

染症の影響による失業などを原因として、生活保護を必要とする人が増えており、今後も増加していくと予測されています。

他方、生活保護費不正受給のニュースが「生活保護」に対するネガティブな印象を与えています。また、生活困窮に陥ったにも関わらず、「生活保護は受けたくない」「家族や周囲の人に知られたくない」ことを理由として、申請すれば支援が受けられる状況であっても、相談することすらしないというケースも現実が増えていきます。

生活保護は、年金や医療保険、失業給付と同様に、生活に困った時に支援を受けることのできる「共助」の制度であり、それを社会全体がしっかり認識する必要があります。

基本的な人権の「生存権」を保障する一つの制度として「生活保護」があることと理解し、さまざまな人権問題と同様、共に助け合うという気持ちは持つことができれば、全ての人が健康で文化的な生活を送ることができ、社会の実現につながるのではないのでしょうか。

市人権・同和対策課(☎521-174)



地域おこし協力隊通信

vol.37

協力隊任期満了 次のステージへ

『サイクルツーリズムの推進』というミッションで活動して約4年。今月末で活動の任期終了を迎えます。

地域おこし協力隊の活動中は、自転車置きスタンド(サイクルスタンド)設置のお願い、自転車を使ったイベントの案内、福岡県のサイクルステーションへの登録など、いろいろな要件で皆さんの施設や飲食店などへお伺いしました。いつも快く活動に協力いただき、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました！

地域おこし協力隊としての活動は任期を終えますが、2月に市内

で起業し、今後も朝倉市の観光振興の推進に取り組んでいきます。引き続きよろしく申し上げます。

最後にイベントのご案内です。3月16日にキンピール福岡工場をメイン会場とし自転車の複合イベント『あさくらサイクルフェスティバルVol.8』を開催します。誰でも参加できるママチャリチャレンジやフードコーナーなども準備しています。自転車に乗る人も乗らない人も、ぜひ会場に遊びに来てください。お待ちしております♪

地域おこし協力隊員 浅川 華子 さん



地域おこし協力隊の普段の活動は、市HPから見られます。

浅川さんの今後の活動はSNSでチェック!



▲(上)サイクルスポットを紹介する取材中(下)あさくらサイクルスタンプラリー参加者と



平塚川添遺跡駅伝大会
遺跡内を小学生が駆け抜けた!



1月19日、平塚川添遺跡公園で少年駅伝大会が行われました。この大会は平塚川添遺跡が平成6年に国の史跡指定を受けたことを記念して始まり、今年で30回目を迎えました。

大会には、市内外から200人の小学生が参加。女子の部(5区間・約5km)、男子の部(6区間・約7km)で、児童たちがチームのためにタスキをつなぎました。当日は天気にも恵まれ、選手たちの熱い走りが繰り広げられ、女子の部は朝倉陸上A、男子の部は東峰RCがそれぞれ優勝。東峰RCは6大会連続の優勝で、特別賞を受賞しました。

朝倉で3日にわたり百人一首大会
かるた人が朝倉に集結



2月8日・9日・11日の3日にわたり、サンライズ杷木で百人一首の大会が開催されました。朝倉市は百人一首の筆頭歌が詠まれたとされる地。これにちなみ百人一首朝倉大会が始まり、今年さまざまな大会が行われました。

8日は「小学生百人一首かるた会」。市内小学生約30人が集まり、初めての百人一首で皆楽しそうに札を取っていました。9日の「天智天皇杯」は今年で12回目。県内各地から集まった約200人の選手が熱戦を繰り広げました。読手が句を読み始めると一瞬の静寂が訪れ、その後選手たちが一斉に札を取る光景は圧巻です。11日には「五色百人一首」も行われ、朝倉にかるた人が集った3日間となりました。

「#朝倉の好きなどこ」
フォトコンテストの入賞作品を紹介

みずみずしい感性で朝倉の魅力を表現するフォトコンテストを開催しました。「#朝倉の好きなどこ」をテーマに「U-18の部」で20点、「一般の部」で79点の応募の中から入賞作品が選ばれ、1月25日に表彰式を開催。入賞者へ賞状と副賞が贈られました。

応募作品は、市のシティプロモーション事業に活用していきます。作品は、市HPや市Instagramから見るができます。朝倉市のPRや魅力発信に、ぜひご活用ください。



▲U-18の部特選『残りわずか』内田愛妃路さん
毎日、通学でお世話になっている西鉄バス。朝早い時間の甘木営業所には、バスが整列して並んでいます。始発に乗る私だけが見ることのできる特別な風景です。残り2ヶ月で高校生活も終わりを迎えます。3年間お世話になった西鉄バスに、感謝の言葉でいっぱいです。



▲一般の部特選『夏の夕暮れと祖父と娘』梅崎彩佳さん
実家に帰省した時、私の祖父と、祖父の帽子を被りたい娘とのやりとり、さらには夕暮れに映える稲を見て思わず撮った1枚です。この景色と90歳差の2人をいつまでも見ていたいと思えました。



▲入賞者の皆さん(前列右から)U-18の部 内田愛妃路さん、西川歩さん、西川実佑さん(後列右から)一般の部 梅崎彩佳さん、古賀奈緒美さん、野口あかねさん、池田政浩さん

朝倉高校史学部×オリジン・モンマルトル
新たなコラボ商品「甘木絞クラシック」

朝高史学部が、クロワッサンで有名な「オリジン・モンマルトル」とコラボし、新たな商品を開発しました。今回のコンセプトは朝倉の伝統文化である「甘木絞」。甘木絞の藍色をブルーベリーで、伝統的紋様である「鹿の子絞り」をパウダーシュガーで表し、古典的な甘木絞の特徴を表現したお菓子です。その名も「甘木絞クラシック」。ぜひご賞味ください。



地域・企業が一体となって桜を手入れ
美しい桜を咲かせるために

1月23日、秋月杉の馬場の桜の手入れが行われました。九州電力グループ3社から「日頃お世話になっている市や地域に貢献したい」との申し出により、昨年引き続き実現したものです。業務に使用する高所作業車を活用し、枯死した桜の枝を剪定。地域の皆さんは桜の補植と施肥を行いました。手入れを終えた桜の開花が待たれます。



久喜宮コミュニティカフェ新春寄席
落語家の噺で初笑い

1月17日、久喜宮集落センターで久喜宮コミュニティカフェ新春寄席が行われました。北九州市出身の落語家橋家文太さんをお招きし、地域住民など約60人が参加。演目「元犬」などが披露され、会場は大きな笑い声に包まれました。参加者は「初めて落語を聞いて、たくさん笑わせてもらいました」と新春初笑いに満足気でした。



JAから朝倉市郡の小学校へ
博多万能ねぎなどが贈られました

1月27日、JA筑前あさくらから、朝倉市、筑前町、東峰村の小学生へ博多万能ねぎと農畜産物マップの寄贈がありました。これは、JAが取り組む食農教育、地域貢献活動の一環で、小学生への寄贈は今回で2回目です。熊本組合長は「地域の特産物を家庭で一緒に食べてほしい」と話しました。



あさくらびと

地域で話題になっている人や団体、企業などを紹介するシリーズ。

第40弾は、朝倉グリーンツーリズム協議会の皆さん取材しました。

Interview

朝倉グリーンツーリズム協議会 会長

矢野 公子^{ひろこ}さん

理事長

原野 明彦^{あきひこ}さん

事務局長

山口 素子^{もとこ}さん

山口 真^{まな}さん

平成22年に設立。修学旅行生の農村民泊受入れなどを行う。グリーンツーリズムとは、農山村地域で自然・文化・人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動のこと。(写真左から山口真さん、原野さん、矢野さん、山口素子さん)

グリーンツーリズムで豊かな心を

豊かな自然で心も豊かに

朝倉グリーンツーリズム(以下、GT)協議会は、農村民泊や日帰り体験を行いながら、朝倉地域の魅力発信などを行い、GTの普及に取り組んでいます。協議会は平成22年に設立。当時、GTの先進地であった鹿児島県南さつま市へ研修に行き、豊かな自然の中で、地域住民も参加者も生き生きとしている姿を見て「朝倉でも実現できる」と手応えを感じ、設立に至りました。

平成23年から福岡都市圏などの小学生や外国人の農村民泊の受入れを開始。平成28年には熊本地震でキャンセルになった修学旅行生148人を急遽受入れたこともあり。当協議会の「会員さん」は現在68人。農村民泊の受入れだけでなく地域の案内など自分のできることを行っています。

たくさんの思いを力に

平成29年には7校141人の修学旅行生の受入れができるまでになりましたが、同年7月の九州北部豪雨災害で受入れの中断を余儀なくされました。その際、民泊体験をしたたくさんの子もたちが、義援金や寄せ書きを送ってくれるなど、自分たちができることで朝倉市を応援してくれました。復旧・復興が進む中、多くの人の応援を力に、

受入れを再開した矢先、コロナ禍で修学旅行が全て中止に。協議会の存続も危うい状況になりました。

GTの良さは、農村民泊で自然に触れ、人との交流ができること。先生が子どもたちに修学旅行の一番の思い出を聞くと「民泊」と答えるそうです。先生たちも「民泊をしている子どもたちの顔が普段と違う」と。GTは受入れ側も来てくれた人も豊かな気持ちになることを再認識しました。そのようなことを振り返り、当協議会を守っていかなければならないと思ひ、今日まで続けてきました。

普通の暮らしが特別に

現在は福岡県と協力し久留米市やうきは市、大刀洗町など、より広域で修学旅行生を受入れる体制を整え、今年度は岡山県やハワイの子もたちを受入れました。言葉や文化の違う人の受入れは一見不安なようですが、気持ちに通じ合い、別れの時はお互いに感動で抱き合うほどです。

受入家庭では特別なことをする必要はありません。「普通」だと思っている私たちの生活は、都会に暮らす人や日本に興味を持つ外国人には「特別」で、すばらしいものです。皆さん、ぜひ一緒にGTを楽しんで、感動を味わいませんか。

朝倉グリーンツーリズム協議会 [☎090-6420-9993(原野) ☎090-2513-7774(矢野) ✉info@asakura-gt.com]



体験型修学旅行生の受入家庭募集

協議会では、福岡県と朝倉地域3市町村(朝倉市・筑前町・東峰村)で連携し、朝倉地域で農業、歴史・文化、自然、料理作りなど体験型修学旅行の誘致を行っており、その受入家庭を募集しています。

これまでに受入れた皆さんからは「子どもたちと過ごした時間はとても楽しかった」「また受入れたい」「孫が帰ってきたみたいだった」と、子どもたちだけでなく、受入家庭の皆さんにも素敵な思い出づくりとなっています。農業体験だけの受入れ先も募集しています。一緒に修学旅行生の受入れをしてみませんか。

興味がある人、詳細を知りたい人は、ぜひお問い合わせください。

